



こんどう さおり
近藤 沙織

車がなくとも誰でもおでかけできる交通手段の整備を！

タクシーは高すぎるのでは

答弁 誘い合って同乗するなど工夫いただきたい

動画で一般質問をご覧ください



問 4月から開始予定のタクシー助成制度は半額程度の補助だが、利用場面と利用量の想定は。

答 日常生活で市内の移動を想定。利用回数は年間延べ約43,800回、予算規模は4,600万円。

問 すると1人当たりの利用回数は年平均わずか1.5往復。日常生活での移動手段とするには大きな矛盾があるのでは。利用料金も、一般市民にとっては日常使いするには高すぎるのでは。

答 利用回数の制限は設けない。誘い合って、日常生活で利用いただけるものと期待する。

問 もし仮に市民が日常的に利用したら、市の財政負担は数億円を軽く超えるが、対策は。

答 需要や様々な市民の状況に応じて、地域公共交通協議会の中で今後対応していく。

問 ボランティアでの移送を担われている地域おたすけ隊の活動が広がる支援も必要では。

答 地域おたすけ隊への負担の緩和と、担い手不足に対する支援を含め、連携を図っていく。

問 イーグルバス代替の乗合ワゴンの飯能駅への運行は。また、署名が500以上集まっていると聞いているが、市民と一緒に考える場も必要では。

答 課題が多くあり困難。12月18日から実施の地域公共交通計画に対する市民コメントの中で、市民の声を聴いていく。



きどころ みなこ
城所 美奈子

学校給食について オーガニック給食に対する市の考えは

オーガニック給食に対する考えは

答弁 有機・オーガニックを含め、安全・安心に努める

動画で一般質問をご覧ください



問 調味料や米などの食材の内容と、添加物やゲノム編集食品の使用状況と市の考えは。

答 塩は海塩、味噌は遺伝子組み換え原料不使用、醤油は国産大豆、米は埼玉県産を使用し、できるだけ添加物に頼らないよう努めている。

問 地産地消の取り組みとオーガニック給食に対する考えは。

答 日高市産、埼玉県産等、地場産食材を優先し、安心・安全につながるよう努めていく。

有機農業の取り組みについて

問 有機農産物の生産状況とオーガニックビレッジ宣言に対する市の考えは。

答 有機農家11件、法人1社。有機栽培に取り組む農業者へ支援するも、宣言の予定はない。

マイナンバーカードとマイナ保険証について

問 マイナ保険証解除手続きと「資格確認書」発行手続きの流れは。

答 保険年金課窓口でマイナ保険証解除可能。マイナ保険証の無い市民に「資格確認書」を発行。

全て任意接種の各種ワクチンについて

問 軒並み健康被害救済制度の認定がされているコロナとHPVについて、その接種状況は。

答 全て直近でコロナワクチン接種率3.44%。HPVワクチン接種率27.34%。